



初心・大事なことを忘るべからず

今年は何日から様々に悲痛な出来事が起こりました。能登地方を震源とする大きな地震、災害、事故。亡くなられた方の御冥福を心からお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。お知り合いや御親戚の方などいらっしゃるなかっただけでしょうか。

昨年には、本校は『総合防災訓練』というものを初めて実施しましたが、テレビから流れてくる映像を見てもっと自分たちのこととして取り組んでいかねばと思います。PTA の皆様、地域の皆様ともさらなる協力を進めていけたらと思います。

本来、今頃は新年のお祝いを申し上げて、抱負を胸に抱く時期でしょう。しかし、現在真っ只中にいらっしゃる方にとっては先のことなど抱けるはずがなく、今のことだとおっしゃることでしょう。

私たちは大事なことも忘れていく人間であり、力足りない点を持ち合わせています。

「初心忘るべからず」などと言いますが、大事なこと、大切なことは忘れないように心がけたいと思います。

さて、話を学校のことに進めたいと思います。

旧年中は本校の教育活動に様々な御声援、御協力を賜わり、誠にありがとうございました。本校の「初心」「大切なこと」の一つに保護者や地域の皆様に支えていただいていることがあると思います。

『地域と共に歩む学校』という理念をあげて開校した学校ですが、本当に地域の皆様に本校のこと、特別支援学校のことを知っていただきたいと思ひますし、保護者の皆様と共にこのことを進めてまいりたいと思ひます。そういう意味でも、昨年もやまぶき祭、やまぶきサポーター、PTA 活動などへの御参加であったり、コミュニティースクール・学校運営協議会の取組であったり、本当に大きく応援していただいている学校だと思ひます。

ぜひ、これが伝統になっていて、子ども達の成長につながっていく学校でずっとあってほしいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「初心」と言えば、本校は図書ラウンジ、読書活動を大事にスタートした学校です。

昨年末に、京都府山城教育局主催の『山城地方「子どもと本をつなぐ」地域連携会議』という研修会が、本校会場で実施されました。読み聞かせサークルの方、学校関係者はもちろん、学校や公共図書館の司書の方、PTA など、多方面からのたくさんの御参加でした。

本校からは樋口司書が本校の読書活動の報告や図書ラウンジ案内・紹介をしました。本当に様々な実態にある本校の子ども達ですが、すべての子どもが読書の広がりを見せていることを聞いてうれしく思ひました。それを多方面の方に知っていただひてよかったです。

来月2月は読書月間の取組を行い、表彰も実施する予定です。この取組も足掛かりに子ども達の読書の世界がさらに広がっていきますように願ひています。



【図書ラウンジを御案内】

■ 実践発表会 ■

『学部間の学びをつなぐ「むすびスタディ」の授業づくり』 ～ 研究プロジェクト・三菱みらい育成財団プロジェクト 共催 ～

令和5年11月28日(火)に、本校の教育活動を「みがく」ための実践発表会を実施しました。

各学部の授業を公開し、特に隣り合う学部で学びをつないでいく『学部混合むすびスタディ』では、『おいデ!やまぶきレストラン(小6と中2)』と『Oide 農園(中3と高2)』の授業でお互いに協働したり学び合ったりする児童生徒の姿を参観いただきました。高等部生徒が先輩として、中学部生徒に教える姿が素晴らしかったとの感想もいただき生徒達の励みにもなりました。



午後からは、高等部生徒による「木工」や「自立活動」のワークショップ、本校の研究や生徒の取組についてのポスター・ビデオ発表を実施し、その後『学びの連続性を目指す授業作り』と題して、文部科学省視学官の菅野和彦氏から貴重な御講演をいただきました。

参加者の方から、「主体的な学習活動を引き出す、魅力ある授業だった。」、「ワークショップでは、高等部生徒のわかりやすい説明で楽しい時間を過ごせました。」といった感想をいただき、本校としても開校3年目に向けて心のエンジンを駆動させる機会となりました。



■ 写真左
「ポスター発表」の様子
■ 写真右
「御講演」の様子
文部科学省視学官 菅野和彦氏

■ 中・高学部行事「RUNRUNRUN」 ■

12月8日(金)第5回学校公開において、中高行事「RUNRUNRUN」を実施しました。「RUNRUNRUN」は、10分間、各チームの目標周数を目指して走るマラソン大会です。校舎外周約470メートルを2周目指す生徒、5周目指す生徒、またグラウンドコースで精いっぱい自分の目標に向けて杖歩行で歩く生徒もいました。どの生徒も、自分の目標やチームの目標を達成するために一生懸命走りきることができました。

レースは2レースで、中学部、高等部でチームを編制し、自分の出番ではないレースでは、しっかりと友達を応援する姿もみられました。保護者の方、地域の方の参観もあり、大きな声援をもらいながら走ることができました。声援に励まされて、試走以上に力を発揮した生徒が多くいました。

また、当日は日頃からお世話になっている外部団体や保護者の皆様にも参加を呼びかけ「外部団体×保護者×教職員」チームも編制しました。山城青年会議所様から3名、大和印刷紙工株式会社様から1名、京都府エアロビック連盟様から1名、中学部保護者から3名、高等部保護者から1名の方々に御参加いただき、スポーツで汗を流すことの楽しさを共有した時間となりました。

生徒たちからは「疲れた」「しんどかった」といった言葉より、「目標達成できなくて悔しかった」「来年はもっと多く走りたい!」などの前向きな感想がたくさん挙がっていました。こうした行事をとおして、スポーツの楽しさ、体を動かす気持ちよさに気づき、生涯スポーツへのきっかけとなる機会になればと思います。

最後に、当日の運営では、YS(やまぶきサポーター)さん12名に御協力をいただき、コースの安全確保や見守りなどのサポートの御協力をいただきました。この場をお借りしてお礼をお伝えしたいと思います。

